

## プール遊びを楽しむ子供たちの様子から

### ～できた喜びを味わい自信につながるプール遊び～

小鹿野幼稚園では、先月の5日にプール開きをして、その後、天気の良い日にはプール遊びを楽しんでいます。今年は、昨年度よりも多くプール遊びが実施できそうで期待も高まります。

**年少児は**、先ず水に親しむことからはじめ、水の心地良さを味わって友達と遊ぶことが中心となります。プール遊びのための準備や片付けも先生に教えてもらいながら自分で行います。中でも着替えに相当時間を要しますが、回を重ねていく中で要領を得て少しずつ上手になっていくのです。「上手に着替えることができたね。」「早く着替えることができてすごいね。」等の教師の言葉がけは、子供にとって何より嬉しいものとなります。

今年の3歳児は、みんなプール遊びが大好きで、動物の真似をしながら歩く・ジャンプをする・這う等の動きをしながら水の心地よさを味わっています。

**年中児は**、昨年度の経験を活かした2年目のプール遊びです。年少児の時には水が苦手でも顔に水がかかると手でぬぐっていた子供たちが、年中のプール遊びを通して少しずつ水への関わり方が変わってきていることがうかがわれます。

年中児は、遊びの中で「忍者の修行」と称して、鉄棒や登り棒、雲梯に挑戦していますが、プール遊びの中でも‘水かけの術’で水をかけ合ったり、プールの中央に立って周りから水をかけられたり、お祝いシャワーをかけてもらったり。教師の手作り筏は大人気です。

**年長児は**、3年目のプール遊びとなります。水に対して積極的にかかわる姿が多く見られるようになり、園行事である7月7日の七夕が近くなってくると「プールで泳げるようになりたい。」「潜れるようになりたい。」等を短冊に書いて飾るといふ、自分なりの目標に向かって頑張ろうとする姿が見られるようになります。現在は、水深が50cmほどのプールで潜ったり、フープくぐりや蹴伸び、子供たちがトルネードと名付けて流れるプールようにして遊んだり。どの学年よりも水しぶきをあげて積極的に遊んでいます。

子供たちの安全を第一に、そして教師の工夫をプラスしてプール遊びを進めていますが、その中で、子供たちの勇気や頑張りについて、「すごいね。」「頑張っているね。」「上手にできたね。」と。不安な様子を見せる子供には「大丈夫だよ。」「応援しているよ。」など。その場面に遭遇した職員がそこで声をかけてやることを大切にしてかかわっています。

「せんせい ○○ができるようになったからみてください。」「ぼくも。」「わたしも。」といった子供たちの声はととても嬉しいものです。